

# 花と緑の銀行だより

236号 2025.8



木津のひまわり畑（写真：高岡支店）

## 目次

- ・花と緑の提言 みどりあふれる万葉のふるさとを目指して（高岡支店）・・・・・・ 2
- ・活動事例 “花を育てて明るい地域づくり” 橿山地方銀行（入善支店）・・・・・・ 3
- ・技術講座 生態系に配慮した宿根草の庭づくり ～ガウラ～（職藝学院 渡邊美保子）・・・・・・ 4
- ・緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理  
～ アカマツやクロマツに発生する病気とその対策 ～（樹木医 西村正史）・・・・・・ 5
- ・事業紹介 「コンテナガーデンコンテスト」について（緑花推進部）・・・・・・ 6
- ・この人あり 花と緑の力で「心の復興支援」（氷見支店 藪田地方銀行 寺井悦子）・・・・・・ 7
- ・お知らせ 第53回花と緑の大会 など・・・・・・ 7



## みどりあふれる万葉のふるさとを目指して

花と緑の銀行 高岡支店

高岡市長 出町 譲

ここ数年は猛暑となる年が続いており、花壇づくりを行っている皆様におかれましては大変身体に負担のかかる気候となっています。このような中においても、頭取、グリーンキーパーを始めとした皆様のご尽力により、地域の花壇や公園が美しく保たれており、心より感謝申し上げます。

令和6年元日に発生した能登半島地震は、本市でも大きな傷跡を残しました。特に一部の地区では地盤沈下等で上下水道にも支障が起き、花壇づくりを満足に行うことができない環境を強いられています。その中でも、できる範囲で花壇づくりを行っておられる姿は他地域の皆さんに勇気を与えております。

さて、高岡市では、本市の緑化の推進に関する総合的な計画である「高岡市グリーンプラン」において、「緑の保全と活用」「緑の創出」「緑化の推進体制」を3つの基本方針として、「みどりあふれる万葉のふるさと」の実現を目指しております。

現在、花と緑の銀行高岡支店では34地方銀行333名の頭取・グリーンキーパーの皆様の他、高岡市花いっぱい連盟会員の皆様、自治会、企業、保育園、幼稚園、小中学校、福祉施設等において、地域緑化・民地緑化に積極的に取り組んでいただいております。

毎年、高岡市花いっぱい連盟では、花壇コンクール及び町並みフラワーラインコンクールを開催しており、昨年も地域性を活かした花壇や工夫を凝らしたフラワーライン等、29団体の参加がありました。このコンクールで上位に入賞した花壇等を県の花のまちづくりコンクールへ推薦し、その結果、4団体が受賞しました。中でも、学校花壇の部で最優秀賞を受賞しました成美小学校は、毎年大変色彩豊かな花壇づくりをされています。この学校の花壇づくりの伝統は長く、代々受け継がれる花の育成技術と愛情には感嘆するばかりです。



写真1 成美小学校の花壇

また、醍醐公民館花と緑の推進部会におかれましては、毎年全国花のまちづくりコンクールに出場し、昨年度で5年連続の入選となり、シルバー賞を受賞されました。長きにわたり活動を支える地域の皆様の努力が形になり、大変誇らしい気持ちをいただくことができました。



写真2 醍醐公民館花と緑の推進部会の花壇

今年度も二つの団体が全国花のまちづくりコンクールに出場予定です。全国に高岡の皆さんの花づくりに対する真摯な姿勢が評価されることをとても楽しみにしています。

また、「万葉集に詠まれた植物の普及の推進」として、特に、市の花「かたかご」の普及に努めています。市内の小中学校、高岡古城公園、二上山、伏木ふれあいの杜等に毎年植栽をしております。かたかごは育成が難しく、日陰を好むため、市民の皆さんに見てもらう機会が少ないことがこれまで課題となっておりました。このため、昨年度は市民が多く来園する古城公園内花壇でかたかごを植栽する取り組みを始めました。引き続き検討を重ねながら市民の皆様に市の花であるかたかごに触れていただき、かたかごを楽しんでもらえるよう取組んでまいります。

また、市民の皆様とともに花壇やプランターへの植栽や維持管理をしていただいております。関係の



写真3 古城公園のかたかご  
(群生写真)

皆様方に心から敬意を表し、感謝申し上げます。次第であります。

これからも、花と緑をととして住民同士の交流、子どもたちの情操教育、来訪客へのおもてなし、そして、ふるさとへの愛着につながることを心から願っております。今後とも、市民の皆様方には地域の緑化活動に一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、公益財団法人花と緑の銀行の今後益々のご発展と、関係の皆様のご活躍を祈念申し上げます。



# “花を育てて明るい地域づくり” 栢山地方銀行

花と緑の銀行 入善支店

栢山地方銀行 頭取 上島 繁

国道8号から南に少し進むと、色とりどりに咲き誇った花たちが出迎えてくれます。栢山地方銀行の活動場所である栢山公民館前と県道交差点横の花壇です。

私たちは、平成15年の栢山公民館の移転新築をきっかけに、公民館の花壇づくりや交差点付近の歩道清掃などの活動を通じて、“花を育てて明るい地域づくり”を実践しています。現在、男性9人、女性10人、計19人が楽しみながらも使命感をもって活動しています。

また、令和元年からは、上皇ご夫妻が全国植樹祭でお手播きされた桜（エドヒガン）も加わり、昨年より美しい花を咲かせています。

環境に配慮した取り組みとして、以前は花茎がらなどを焼却していましたが、SDGsの考えに基づいて循環式花壇を導入しました。畔ボードで作った筒状の容器に、花がらや花茎がらと草むしりの草、サクラの落ち葉に石灰を混ぜて堆肥化し、2年サイクルで花壇の土づくりに活用しています。この方法は我が家の家庭菜園でも実施しています。

近年の猛暑の中、メンバーの献身的な水やりによって美しい花が咲き続けています。水やりは、2人1組で1週間交代、1シーズンで2週間担当します。

時には大変つらく感じるがありますが、鼻歌を歌いながら花に語りかけ、いたわりの気持ちを込めて水やりをすることで、花々からの穏やかな気配を感じることができます。“お互い、ありがとう”という気持ちになります。

今年も、富山県花のまちづくりコンクールにトライしていきます。メンバーが集まり、互いに元気をもらいながら、限られた中でも力を合わせて頑張っていきます。

今後も、みんなでワイワイ、ガヤガヤ楽しみながら、入善町栢山の“花を育てて明るい地域づくり”に向けて活動を続け、私たち自身も成長していきたいと考えています。この花を育てる活動が、地域の絆を深め、明るい地域づくりにつながるよう願っております。



写真1 花壇整備（夏苗 植え付け）



写真2 SDGs 循環式花壇を目指して



写真3 上皇ご夫妻お手播き桜（エドヒガン）



写真4 歩道の清掃活動



写真5 活動後の休憩（ミーティング）

# 生態系に配慮した宿根草の庭づくり ～ ガウラ ～

職藝学院

教授 渡 邊 美保子

庭園に植栽された外来種が逸出し、その後、新しい環境に根付いて繁殖を繰り返し生態系に影響をおよぼすかどうかを判断するには時間がかかります。同じ植物でも逃げ出した場所の環境によって生き残るものもあれば消えていくものもあります。庭園の外の環境が草原や森、河川、海岸などのように自然度が高い所の場合は、植栽する宿根草の生態に気を配りましょう。例えば、こぼれダネの発芽率が高い宿根草については、熟した種子をいつまでも付けておかないことをおすすめします。

ガウラは北アメリカ原産のアカバナ科の宿根草で、草丈100～150cmほどになります。5月中旬から11月初旬頃まで次から次と花茎の先端に花が咲きます（写真1）。ガウラは花茎を伸ばしながら、先端につぼみをいくつか付けて、その下に常に1～2つほどの花を咲かせます。花は3日ほどでしおれてゆき、しおれた花が落ちると緑色の果実が現れます（写真2）。この果実が茎にびっしりと付いて下から順に褐色になりタネが花壇に落ちてゆきます。最後のつぼみが咲き終わるのが11月初旬頃ですから、半年ほどはタネを落とし続けます。原産地では明るい林内、草原、道ばたなどに生えています。このような場所が近くにある場合は、庭園の外に逃げ出す可能性が高いと考えられます（写真3）。

熟したガウラのタネを花壇に落とさないために、開花茎の切り戻しを定期的に行います。5月中旬頃から開花が始まりますが、6月初旬に地面から20cmの所で切り戻しをします（写真4）。3～4週間後には再び花が咲き始めます（写真5）。9月初旬までは切り戻しができますが、2回目以降は、伸びた花茎だけを切り戻します。2～3週間後には再び開花します。

※ガウラの詳しい説明は、『花と緑の銀行だより181号』（2011.9月号）参照  
（花と緑の銀行ホームページの技術情報『富山で楽しむ宿根草』シリーズ3No.15にも掲載）



写真1 開花後一度も切り戻しをしていないガウラ。9月中旬。高さ130cm。広がり120cm。花茎にたくさんの果実が付いている。花茎の先端につぼみ、その下に花が咲く。



写真2 ガウラの花茎に並んだ果実。7月初旬。果実は熟すと褐色になり、中にタネがある。



写真3 花壇から15mほど離れた生け垣の下で芽生えた実生。12月初旬。見つけたら抜く。



写真4 咲き始めた花茎を地面から20cm残して切り戻し。6月初旬。



写真5 6月初旬に1回目の切り戻しをして4週間後の様子。7月初旬。



# 庭木に利用する樹種の特徴と管理

## ～ アカマツやクロマツに発生する病気とその対策 ～

(一社) 日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村正史

クロマツやアカマツ（以後、マツ）は現在でも庭木の代表的な樹木であり、多くの家庭に植栽されています。しかし、残念なことに病害虫が多発する代表的な樹木でもあります。

害虫が発生した場合はその幼虫が針葉を食べるので、葉が急に少なくなったり糞が落下したりします。しかも、幼虫は比較的大きいので被害の状況を比較的簡単に確認でき、早期の防除が可能です。

ところが、病気が発生した場合は針葉の一部や全体が枯れますが、その症状から原因となる病原菌を特定することは困難です。

そこで、私の仲間である県内の樹木医が平成30年（2018年）から令和7年（2025年）までの間に取り扱った14事例から、マツの病気に対する対応を検討してみました。

### 1 マツに発生した病気

最近の8年間に本県で発生したマツの病気は、すす葉枯病、赤斑葉枯病、葉ふるい病、ペスタロッチア葉枯病、ディプロディヤ病、シュードサーコスボ菌による葉枯病の6種類でした（図1）。最も多い病気は、ペスタロッチア葉枯病、次に多いのが葉ふるい病、3番目に多いのが赤斑葉枯病でした。また、14事例中8事例は単独の病原菌による病気でしたが、他の6事例は2種類あるいは3種類の病気が同時に発生していました。

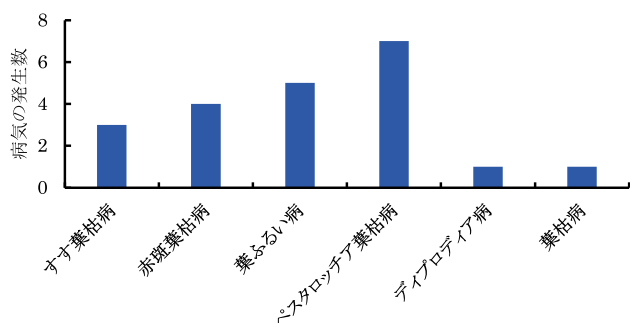


図1 平成30年から令和7年までに県内のマツに発生した病気の発生数の頻度分布。横軸の葉枯病はシュードサーコスボ菌による葉枯病のことです。

なお、この解析には名畑樹木医作成による病害虫診断ノートを使わせていただきました。

### 2 マツに発生した病気の対応

庭木のマツの針葉が枯れると景観が悪くなるので、何とか対応しなければなりません（写真1の左）。そのためには、マツの樹冠全体を見て病気以外の兆候があるか否かを判断してください。見方としては、①マツの樹冠下に糞が落ちているか、②幼虫がいるか、③針葉全体の緑色が退色しているか、です。①と②はマツカレハ等の幼虫による被害ですので、殺虫剤等で対応できます。③の場合はハダニの被害とマツノザイセンチュウによる被害が考えられます。前者であればハダニ剤で対応できますが、後者であれば残念ながらマツ全体が枯れてしまっているので、伐採せざるをえません。①から③までの兆候がなければ、前節で説明した6種類の病気のいずれかが単独で発生したか、若しくは、複数で発生したと判断してください。

対応としては、まずは被害を受けて落下した針葉を丁寧に集めるとともに、マツに残っている被害針葉も取り除いて一緒にゴミとして処理し、その後で殺菌剤を散布してください（写真1の右）。登録のとれている殺菌剤は、キノンドー水和剤（500倍液）、ドウグリン水和剤（1000倍液）、トップジンM水和剤（1000～2000倍液）、Zボルドー（800倍液）です。



写真1 クロマツに発生した病気の被害状況（左：2023年4月19日撮影）と被害針葉処理と殺菌剤処理後の状況（右：2023年8月29日撮影）

# 「コンテナガーデンコンテスト」について

花と緑の銀行

## 緑花推進部

緑花推進部から「コンテナガーデンコンテスト」についてご紹介します。

このコンテストは、地域緑化の指導者として活動いただいている、頭取・グリーンキーパーのみなさんの日頃の活動成果を発表する機会として、例年2月の「花とみどり・ふれあいフェア」の開催に合わせて実施しています。

昨年度は、9支店から14作品が出展され、2月7日から16日までの10日間、富山市婦中町の「フューチャーシティ・ファボーレ」において展示され、多くの県民の方々に、頭取・グリーンキーパーの技術や活動を知っていただく機会となりました。また、展示期間中には作品の審査が行われ、優秀作品については、フェア開会式にて表彰が行われました。

このコンテストは今年度も実施することとしています。頭取・グリーンキーパーのみなさんには、是非この機会に、これまで地域花壇等で培ってこられた技術を存分に発揮していただきたいと思っておりますので、奮ってご参加下さい。

(詳細は下記のとおりです)

### 《令和7年度 コンテナガーデンコンテストの概要》

- ・参加者 花と緑の銀行各支店の地方銀行
- ・出展作品規格
 

寸法：横幅、奥行	1.0m以内
高さ	1.5m以内
材料：根付きの植物	
- ・出展申請 令和7年11月中旬～12月下旬(予定)
- ・作品展示 令和8年2月下旬～3月上旬(予定)
- ・助成 作品制作や運搬等に要する経費に対し助成があります。(上限7万円)
- ・賞品等 豪華副賞や参加賞を用意しています。
- ・留意事項 作品の搬入・搬出、展示期間中の作品管理(花柄摘み等)は出展者が行ってください。
- ・その他 詳細は決まり次第、各支店を通じご案内します。
- ・お問合せ 銀行各支店担当者または本店緑花推進部まで

冬期は各地方銀行においての活動も閑散となり、緑花に疎遠となりがちな時期ではありますが、当コンテストに向けた作品の制作を通して、まもなく訪れる春に向けた準備にもなるのではないかと考えています。

花と緑の銀行では、県民が花と緑と交流を深めながら、元気な富山県をつくるため、今後も県民が主役の花と緑の県づくりを支援してまいります。

### 《令和6年度の大賞および優秀賞》

#### 大賞「春は曳山から」



城端花と緑の会(南砺支店)

#### 優秀賞「となみ野の春を彩る」



東野尻花と緑の推進協議会(砺波支店)



## 花と緑の力で「心の復興支援」

花と緑の銀行 氷見支店

菟田地方銀行 グリーンキーパー 寺井悦子

平成 29 年にグリーンキーパーに就任して以来、氷見市菟田地区の国道 160 号沿いにある花壇「菟田ふれあい花壇」を中心に活動しています。活動する中で、一番印象深い出来事は、令和 6 年 3 月 25 日に開催した寄せ植え教室です。

令和 6 年元日に発生した能登半島地震の影響で、地区の子どもたちに興奮状態が続いている様子が見て取れました。これまでおとなしかった子が急に大きな声を上げるようになったり、緊急地震速報の真似をしたりする子を見かけるようになったのです。

地域緑花の推進役の一人としてできることを考えたときに思いついたのが、地区の子どもたち向けに寄せ植え教室を開催することでした。心に安らぎと潤いを与えてくれる花と緑の力が、子どもたちの“心の復興支援”につながると思ったことがきっかけでした。

幸いにも、花のまちづくり新拠点創出支援事業の助成金を活用させていただくことができ、他のグリーンキーパーも企画に賛同してくれたため、充実した内容となりました。講師にはハンギングバスケットマスターの四方麻由美先生をお招きし、レースラベンダーやビオラ、バーベナなど 6 種類の色鮮やかな花苗を用意しました。

当日は、地元の児童育成クラブに通っている 40 名が参加してくれました。子どもたちは、苗の配置を一生懸命考えて植え付けてくれました。仕上がった寄せ植えは、まるで復興に向けて家族が寄り添い、協力していく様子と重なるように見えたことを今でも覚えています。何よりも、楽しそうな子どもたちの笑顔が、震災で沈みがちだった私自身を元気づけてくれました。

グリーンキーパーとしての活動は、体力的に大変だということもあります。一生懸命に花壇のメンテナンスをしても、花は思ったように咲いてくれないこともあります。しかし、少しでも地域に笑顔の花を咲かせたいという気持ちが、今の私を支えています。



写真 寄せ植え教室の開催 (R6.3.25)

### お知らせコーナー (8 月～ 12 月の主なイベント)

 “富山県花と緑の祭典 2025 第 53 回花と緑の大会”を開催します。

- 日時／令和 7 年 11 月 13 日 (木) 13:30 ～ 16:00
- 場所／富山県民会館ホール
- 内容

- (1) 花と緑の功労者表彰
- (2) 富山県花と緑のコンクール入賞者表彰
- (3) 花と緑の講演会

演題：「健康寿命を延ばす植物とのかかわり方」

講師：神戸学院大学 現代社会学部 現代社会学科

講師 菊川 裕幸 氏

保健科学修士かつ農学博士  
の菊川先生から、  
健康と植物に関する  
お話が聞けます。

### 同時開催

○花と緑のコンクール入賞作品及び花壇写真展示 (2 階ホール前ロビー)



## 富山県中央植物園

- 特別展「花を知る 花を楽しむ」 8月29日(金)～10月8日(水)
- 第33回 TOYAMA 植物フォーラム 9月7日(日) 13:30～16:00
- 第37回 ボタニカルアート展 10月10日(金)～10月15日(水)
- 第58回 富山県おもて展 10月17日(金)～10月19日(日)
- 秋季さつき・盆栽展 10月24日(金)～10月26日(日)
- 第8回 サボテン・多肉植物展 11月1日(土)～11月3日(月・祝)
- 第19回 秋のラン展 11月22日(土)～11月24日(月・振)
- ウィンターフェスin植物園 12月5日(金)～12月7日(日)
- 花と緑のコンクール入賞作品展 12月9日(火)～12月24日(水)

(詳細は HP をご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。)

## 県民公園 頼成の森 \*\*おかげさまで開園 50 周年! \*\*

- どんぐり工作教室 9月28日(日) 9:30～12:00 定員:20名 参加費:600円 ※軍手必要
- きのご狩りと観察会 10月12日(日) 9:30～11:30 定員:50名 参加費:500円 ※軍手必要
- 頼成の森“感謝の集い” 11月9日(日) 9:30～14:00 定員なし 参加費:無料  
・林内散策、オカリナ演奏、綿菓子、お楽しみ抽選会などを楽しむ
- ♡秋♡の頼成の森観察会 11月23日(日・祝) 10:00～11:30 定員:20名 参加費:無料  
・プロの案内で紅葉狩り
- リースづくり教室 11月30日(日) 9:30～11:30 定員:20名 参加費:1,000円
- ミニ門松づくり教室 12月14日(日) 9:30～12:00 定員:20名 参加費:1,000円 ※軍手必要

(詳細はHPをご覧ください。お申し込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ)

### 令和7年度 ステップアップ研修花壇と研修風景 (7月)



#### ◆お願い

各行事の中止や内容の変更を行う場合があります。  
各行事の詳細はその都度担当部署へお問い合わせください。

編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行  
〒939-2713 富山市婦中町上轡田 42  
TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923  
<https://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園  
〒939-2713 富山市婦中町上轡田 42  
TEL 076-466-4187 FAX 076-465-5923  
<https://www.bgtym.org>

県民公園頼成の森  
〒939-1431 砺波市頼成 156  
TEL 0763-37-1540 FAX 0763-37-1450  
<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>



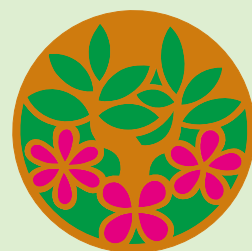
#### ◇お知らせ (ステップアップ研修)

研修の様子がインターネットのブログでご覧いただけます。

“普及研修部だより”で検索するか、下記URLを入力、または下記二次元コードを読み取ってください。

・普及研修部だより

<https://fukyu-kensyu.cocolog-nifty.com>



花と緑の銀行だより 236号

発行日 令和7年(2025)8月  
再生紙を利用しています。